

# より安心・安全なまちへ 新しくなった消防庁舎

昭和47年に建設された「二宮町消防庁舎」は、50年以上にわたり町の安全を守ってきました。

老朽化への対応や、消防体制の充実に伴う機能向上のため進めてきた「消防庁舎大規模改修工事」がこのたび完了し、現在は改修後の庁舎で業務をスタートしています。

生まれ変わった庁舎の様子をご紹介します。

## 消防本部沿革

昭和10年	11月	町制施行
昭和23年	4月	自治体消防団発足
昭和46年	9月	救急業務開始
昭和47年	1月	庁舎竣工
昭和47年	2月	消防本部・消防署設置
平成10年	3月	消防庁舎増設
平成10年	9月	庁舎既存部耐震工事完了

## 災害への備え

これまでは地上階（平面）で訓練を行っていましたが、3階建ての訓練施設を活用できるようになりました。これにより、低所からの引き揚げ救助や消防ホース延長など、立体的な訓練が可能となり、さまざまな状況を想定した訓練に取り組めるようになりました。



## 迅速な出動

これまで車庫に設置されたロッカーで各職員が防火衣などに着替えていましたが、出動動線上に出動準備室を整備し、ロッカーを配置しましたことにより迅速な出動が可能となりました。また、出動準備室では出動場所や災害内容などの情報を共有しやすくなり、出動までの流れの効率化につながっています。



## 感染症対策

救急保管庫と消毒室を一体化したことにより、効率的に消毒・除染の管理がしやすくなりました。  
(医療廃棄物処理専用エリア、救急資器材専用洗浄スペース・消毒スペースを設けています)



## 執務環境など

これまで執務スペースは固定席での配置としていましたが、消防署の勤務（当直）体制に合わせ、複数人で利用できるフリーアドレス式のレイアウトを採用し、スペースの有効活用と業務の効率化を図っています。また、当直時に使用するベッドや個人物品を収納するロッカーは各所に分散していましたが、仮眠室に集約しました。さらに仮眠室を個室化することで、プライバシーの確保や職員間の感染防止対策にも配慮しています。



☎ 消防課庶務班 ☎72-0015